



さいばいニュース

Vol.118

公益財団法人 神奈川県栽培漁業協会

発行所 〒238-0237

神奈川県三浦市三崎町城ヶ島養老子

TEL 046(882)6980

FAX 046(881)2233



ホームページ

令和6年度 事業計画

県内漁協へのサザエ種苗配布スタート、アマモの育成技術の習得へ

1. 基本方針

当協会は昭和61年に「栽培漁業に関する事業を行うことにより、水産資源の維持増大を図り、漁業の振興と県民生活の向上に寄与する。」ことを目的に設立され、今年で38年目を迎えることとなりました。

今年度はマダイ、アワビ、サザエ、トコブシの種苗生産を行い、東京湾並びに相模湾への放流、漁業協同組合を始めとする水産団体への供給を行います。サザエについては今年度から県内漁業協同組合へ種苗の配布を始めます。更に、放流効果が安定しているヒラメを始め業界からの要望が高い種苗を入手し放流します。

また、令和4年度から開始された第8次神奈川県栽培漁業基本計画に基づき、神奈川県の栽培漁業を実施していきます。

魚類の種苗生産については、引き続き協会の陸上施設で中間育成を実施し、経費の削減を図り運営改善に努めていきます。

当協会の中核事業である種苗生産・放流並びに供給事業を行うことにより神奈川県の水産資源の維持増大を図ります。

近年の磯焼け(漁場の海藻類が枯れて消失し砂漠化している)海域の環境保全が重要視され、保全活動の一つとして水生植物(アマモ苗)の移植が注目を集めています。今後需要が見込まれる水生植物(アマモ苗)の育成技術の習得に努めます。

2. 事業の内容

(1) 種苗放流事業

マダイ種苗放流事業

ア. 種苗生産尾数	(全長 20mm)	50 万尾
イ. 放流尾数	(全長 60mm)	15 万尾
ウ. 放流場所	東京湾域	5 万尾
	三浦半島西岸域	5 万尾
	西湘域	5 万尾

ヒラメ種苗放流事業

ア. 放流尾数	(全長 60mm)	6 万尾
イ. 放流場所	東京湾域	2 万尾
	三浦半島西岸域	2 万尾
	西湘域	2 万尾

(2) 普及啓発事業

① PR 推進事業

「栽培ニュース」(1,500部/回、年2回)を作成し県内の漁業協同組合、水産団体、遊漁団体、教育及び公共機関等へ配布し当協会の広報活動を実施します。

また、ホームページから協会の活動状況を積極的に発信していきます。

② イベント推進事業

今年度は各地で開催される地域活動に参加し種苗放流の体験イベントを安全対策や感染対策を踏まえて実施をしていきます。

(3) 調査事業

マダイ遊漁標本船調査

県内遊漁船の中からマダイ遊漁を対象に標本船調査を実施します。(標本船;12隻)

(4) 種苗供給事業

① 生産供給: アワビ、サザエ、トコブシ、マダイ種苗を生産し漁業協同組合をはじめとする水産団体へ供給します。

今年度からサザエ種苗を県内漁業協同組合へ配布します。従来からの配布先である県外関係機関等へも引き続き供給できるように取組みます。

また、クロアワビ種苗の安定生産を行い県外に配布するように努めます。

今後需要が見込まれるアマモ苗の育成に取り組めます。

② 斡旋供給: ヒラメ、カサゴ、メバル、トラフグなどの種苗を入手し漁業協同組合をはじめとする水産団体へ供給します。



そして、当協会の活動に理解と協力が得られるよう、漁業者はもとより広く神奈川県民に対し、東京湾並びに相模湾の海洋環境の保全と水産資源を豊かに保つ必要を訴える普及啓発活動を行います。

放流イベント等は感染防止対策を行い実施していきます。また、広報紙「栽培ニュース」やホームページを活用し協会の活動について発信していきます。

当協会の運営については、漁業経営の不振と遊漁者数の減少等から主な収入源とである漁業者負担金や遊漁船業者等協力金は減少傾向にあり、大変厳しい状況が続いています。

神奈川県が計画している栽培漁業施設の再編整備計画に基づく生産施設の充実により、種苗の増産による収益の向上を図り経営改善を進めていきます。

種苗供給事業

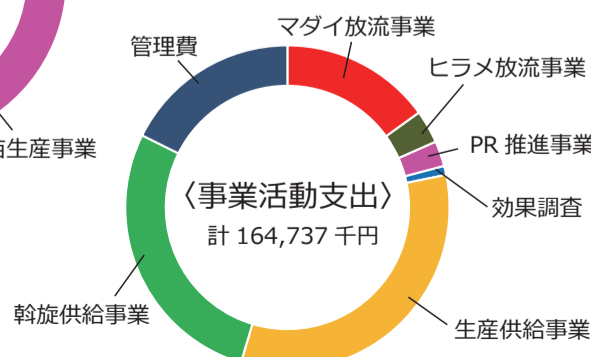
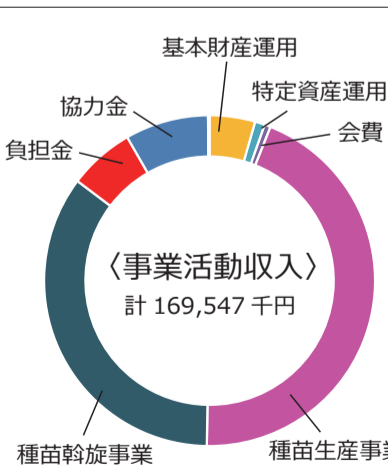
事業名	種苗名(サイズ)	6年度(計画)	5年度(実績)
生産供給	アワビ (5mm)	10,000 個	10,000 個
	〃 (25mm)	150,000 個	152,330 個
	〃 (30mm)	35,000 個	48,150 個
	サザエ ※(15mm)	900,000 個	582,414 個
	トコブシ (20mm)	40,000 個	47,000 個
	トコブシ※(大型)	3,000 個	3,000 個
	マダイ (60mm)	200,000 尾	244,150 尾
斡旋供給	ヒラメ (60mm)	230,000 尾	225,192 尾
	マコガレイ(30mm)	35,000 尾	35,000 尾
	クロダイ (60mm)	15,000 尾	15,000 尾
	メバル (60mm)	40,000 尾	37,500 尾
	カサゴ (60mm)	180,000 尾	198,500 尾
	トラフグ (50mm)	10,000 尾	10,000 尾
カワハギ (50mm)	23,000 尾	28,800 尾	

※サザエは県内 300 千個を含みます。
※トコブシは養殖用種苗

令和6年度予算

事業活動収入	千円	割合(%)
基本財産運用	7,561	4.5
特定資産運用	1,622	1.0
会費	1,000	0.6
種苗生産事業	75,039	44.3
種苗斡旋事業	59,380	35.0
負担金	10,890	6.4
協力金等	13,805	8.1
雑収入	250	0.1
計	169,547	100

事業活動支出	千円	割合(%)
マダイ放流事業	24,815	15.1
ヒラメ放流事業	5,437	3.3
PR 推進事業	4,155	2.5
効果調査	1,459	0.9
生産供給事業	54,143	32.9
斡旋供給事業	45,618	27.7
管理費	29,110	17.7
計	164,737	100



令和5年度決算報告 正味財産増減計算書

貸借対照表の資産の部で固定資産として令和5年度と令和4年度との比較で増減の差が大きかった経営安定化資金があります。経営安定化資金は、神奈川県債第34回公募公債20年の簿価が令和4年度に280,287,349円ですが令和5年3月31日の評価額が280,420,000円で2,540,000円の減少でした。令和5年度の資産合計は708,073,591円でした。

負債の部で流動負債の短期借入金は令和5年度は令和4年度と同じでした。自転車操業が続いています。流動負債の合計は67,374,310円、固定負債の合計は83,541,722円、負債合計は83,541,722円でした。

正味財産の部では、指定正味財産が402,201,000円、一般正味財産が222,330,869円、正味財産合計624,531,869円、負債及び正味財産合計は708,073,594円となり、令和4年度と比較すると1,370,288円が減少しました。

正味財産増減計算書では経常収益で事業収益は、令和4年度と令和5年度の比較で増減が9,008,668円増えています。これは県外へサザエ種苗の販売が順調であったことによります。しかし、受取協力金は受取マダイ協力金2,329,654円が令和4年度と比較して減額し、4,147,118円でした。遊漁船業者と遊漁者の釣り対象種がタチウオなどに変化している結果と思われます。

経常費用では、光熱水料費が令和4年度と比較して令和5年度で5,334,556円減少していました。これは、栽培漁業協会の水産動物を飼育するため海水を汲み上げている45kWのポンプを通常2台使っていますが、魚類種苗生産が終了した10月から3月まで1台を止めて電気代を節約し、さらに国の補助金が助成されたためです。令和6年5月から国の助成が中止されるため、電気代の上昇があることが予想されます。

経常費用の計は165,230,690円で経常収益との差は1,214円でした。正味財産の期末残高は624,531,869円で令和4年度と2,538,786円の減でした。

栽培漁業協会 役員改選される

令和6年6月14日に開催された評議員会で理事、監事、評議員が選任されました。任期は理事が2年間、監事・評議員が4年間です。栽培漁業協会では鈴木秀雄事務局長の定年退職のため、令和6年4月1日より土地敬洋管理課長が新たに事務局長となりました。そして同日、鈴木将幸職員が業務課長に就任しました。

役職名	氏名	所属	備考
理事長	高橋 征人	神奈川県漁業協同組合連合会 代表理事会長	重任
専務理事	今井 利為	(公財)神奈川県栽培漁業協会 専務理事	重任
理事	川崎 秀一	(公財)相模湾水産振興事業団 専務理事	新任
理事	一之瀬 徹也	神奈川県釣船業協同組合 理事長	新任
理事	黒川 和彦	横浜市漁業協同組合 代表理事組合長	再任
理事	福本 憲治	湘南漁業協同組合 代表理事組合長	新任
理事	山田 正行	みうら漁業協同組合 副組合長理事	重任
理事	葉山 一郎	湘南漁業協同組合 副組合長理事	重任
理事	田中 邦男	平塚市漁業協同組合 代表理事組合長	重任
監事	船澤 良二	神奈川県看護連盟事務局長	重任
監事	柏 浩一	横須賀市東部漁業協同組合 参事	新任
評議員	畑中 一彦	生麦子安漁業協同組合 理事	重任
評議員	宮川 均	みうら漁業協同組合 理事	新任
評議員	小澤 紳一郎	長井町漁業協同組合 代表理事組合長	新任
評議員	真間 義嘉	茅ヶ崎市漁業協同組合 代表理事組合長	新任
評議員	久保田 源太郎	小田原市漁業協同組合 副組合長理事	重任
評議員	岩崎 一郎	(一財)東京湾南部水産振興事業団 副理事長	重任
評議員	高見澤 佑介	(一社)全日本釣り団体協議会	重任

令和5年度 貸借対照表概要

科目	令和5年度	令和4年度	増減
1. 資産の部			
流動資産	2,873,400	2,873,400	2,122,843
基本財産	411,170,000	411,170,000	205,980,000
特定資産	294,960,000	294,960,000	△192,960,000
その他固定資産	440,479	440,479	30,586
資産合計	709,443,879	709,443,879	15,173,429
2. 負債の部			
流動負債合計	65,956,892	65,956,892	△825,264
固定負債合計	16,416,332	16,416,332	△276,110
3. 正味財産の部			
指定正味財産合計	402,201,000	602,201,000	200,000,000
一般正味財産合計	224,869,655	35,164,458	△189,705,197
負債及び正味財産合計	709,443,879	724,617,308	15,173,429

令和5年度 正味財産増減計算書概要

(単位:円)

科目	令和5年度	令和4年度	増減
1. 一般正味財産増減の部			
経常収益 基本財産運用益	7,502,743	8,810,747	△1,308,004
特定資産運用益	1,619,133	314,000	1,305,133
受取会費	894,000	816,000	78,000
事業収益	119,405,505	113,520,916	5,884,589
受取負担金	11,183,700	11,432,710	△249,010
受取協力金	17,832,537	14,769,425	3,063,112
雑収入	279,941	182,676	97,265
経常収益計	158,717,559	149,846,474	8,871,085
経常費用 事業費	137,875,334	134,614,355	3,260,979
管理費	24,097,028	22,476,478	1,620,550
経常費用計	161,972,662	157,090,833	4,881,829
当期経常増減額	△7,040,000	△7,244,359	204,359
経常外増減の部			
経常外利益計	200,000,000	0	200,000,000
一般正味財産期末残高	224,869,655	35,164,458	189,705,197
2. 指定正味財産増減の部			
指定正味財産期末残高	402,201,000	608,181,000	△205,980,000
3. 正味財産期末残高	627,070,655	643,345,458	△16,274,803

(単位:円)

あいおいニッセイ同和損保 フィッシングマスターから寄付金



昨年に引き続き、あいおいニッセイ同和損害保険株式会社より寄付金をいただきました。あいおいニッセイ同和損保が地域への社会貢献の取り組みの一環として運営されている「MS & AD ゆにぞんスマイルクラブ基金」から寄付で、地域責任者である神奈川自動車営業部の牧野部長と、事業担当者が目録贈呈のため来所されました。

5月19日(日)、小網代にあるシーボニアマリーナでフィッシングマスター2024キスが開催され、参加費の一部が寄付金として贈呈されました。表彰式パーティにて寄付金の贈呈が行われ、当協会の今井専務理事から参加者へ御礼の挨拶がありました。



pick up! 種苗放流



1月19日(金)
臨港パークで
カサゴ稚魚放流
(一社)日本釣用品
工業会)



5月26日(日)
葉山でヒラメ稚魚放流
(公財)相模湾水産振興
事業団と葉山町)

4月7日(日)
東扇島で
ヒラメ稚魚放流
(ライオンズクラブ
国際協力330-B地区)



6月9日(日)
長井で
ヒラメ稚魚放流
(地球の未来を
考える会WAF&と
(公財)日本
釣振興会
神奈川県支部)



アワビ

アワビは、8月に発生した赤潮の影響で親貝や出荷用の種苗に斃死があった。採卵にも影響はあったが、採卵数は問題なく、今年度の種苗は例年通りに飼育中。



トコブシ

トコブシも、やはり赤潮の被害を受けたが生産数としては確保できている。今年度は採卵を増やし、出荷可能個数を増やす方向。



サザエ

サザエは、親貝が赤潮の被害を受けたが種苗は無事だった。生産・出荷数は増えたが、従来通り順調に飼育中。

令和5年度の貝類生産状況と今後の展望

貝類飼育においては、今後も起こるであろう赤潮に対する備えとして、昨年効果があったエアホースを増やして曝気量を増やす対策をとりつつ、高水温期における種苗の変化を見逃さないように心がけていく。

栽培漁業って何③④

公益財団法人 神奈川県栽培漁業協会 専務理事 今井 利為

ヒラメ①

「左ヒラメに右カレイ」と言う言葉を聞いたことがありますか。

腹側を手前にして眼が体の左側に位置しているものをヒラメ、右側に位置しているものをカレイに分類しています。しかし、例外もあるようですが。

もう一つヒラメとカレイで大きく違う点が口と歯です。ヒラメは魚を食べるため口が大きく、歯が鋭く尖っています。カレイはゴカイや小さな二枚貝などを食べるためのおちよぼ口になっています。

ヒラメは、北海道から九州にかけての太平洋側と日本海側の大陸棚より浅い沿岸域に分布しています。

このように全国に分布しているヒラメですが、系群と呼ばれる生殖単位があり、太平洋側で三つ、日本海側で五つのグループ分けをしています。

神奈川県で漁獲されるヒラメは、背鰭条数、標識放流の再捕状況、漁獲統計の結果からみると、房総半島南東部から紀伊半島東部までのグループに属しています。しかし、標識放流の結果から、神奈川県で放流したヒラメは、西に移動する例が多いものの、駿河湾以西まで移動した例は二例しかなく、ほとんど相模湾に留まっているようです。

ヒラメは雄・雌で成長が異なる

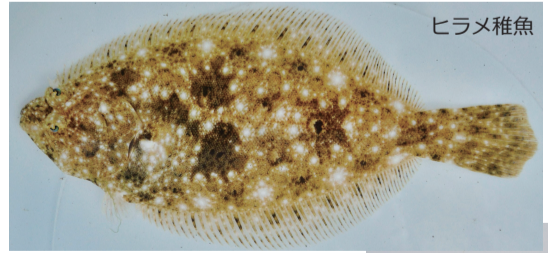
ヒラメの成長は、二～三歳になると雌雄で成長差があります。雌の成長が雄を上回ります。例えば、五歳の雌では65.9cm、雄では54.7cmと11cmもの差がありま

す。さらに体重の差では、雌3.12kgと雄1.85kgで1.7倍となっています。

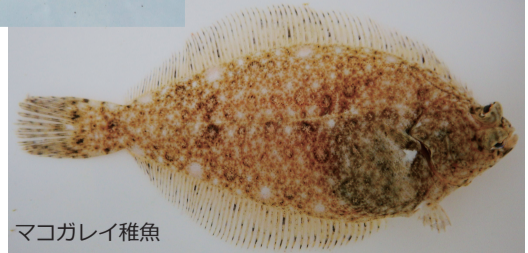
ヒラメは種苗生産期の飼育水温によって雄雌比が異なることが知られています。通常、水温20度前後で飼育すると雌雄比が1対1となりますが、それより、高水温が低水温で飼育すると雄の割合が増加します。

養殖では、成長が良い雌だけを造る研究がされています。魚も含まれる脊椎動物は染色体で雌雄が分かります。雄はXY、雌はXX染色体で性が決定されます。雌だけを造る方法として、精子に紫外線を照射して染色体の一部を破壊して、これを卵に作用させ、さらに極体放出阻止をするため圧力をかけ雌性発生二倍体をつくる方法などがあります。

しかし、染色体操作をして造った生物は養殖に限り、自然界に放すことはしてはいけません。これでは、雌雄のバランスが崩れて、ペアを組み難くなりますね。



ヒラメ稚魚



マコガレイ稚魚



かながわ漁協探訪 ～湘南漁業協同組合 藤沢支所～

湘南漁業協同組合藤沢支所(昨年まで藤沢市漁協。今年1月に葉山・大楠・鎌倉と合併)の漁業は、はまぐり・しらす・地引網。地引網の漁業者がしらすもはまぐりも手掛けており、しらす船もはまぐりを採っています。

はまぐり漁は、「ケタ引き」という、海底でケタという重い漁具をを引く方法。ゆっくり引かないと貝殻が傷ついてしまうので、1回1時間ほどかけて引き、それを5・6回繰り返すという根気のいる漁です。資源保全のため、月の前半と後半で2回漁に出て、1回につき200kgを上限として漁獲し、1月～2月中旬は禁漁期としています。獲れたハマグリは漁協で販売。ふるさと納税の返礼品に使われたり、県内の直売所に並ぶことも。地引網は、週末の観光がメインで、あとは土曜日に漁協直売所で開かれる朝市に向けて船を出しています。



☆はまぐりオススメレシピ☆

直売所では活はまぐりを買うことができます。250～300gの大きめサイズで1個300～500円。中には400g越えの特大サイズ(左写真)も。バーベキューには生が良いが、冷凍の方がダシがよく出るし、身も柔らかくて美味しくなるとのこと。3月は濃厚で夏は身が締まるなど、季節によって味わいも違うとのこと、興味のある方は是非食べ比べしては。



直売所の営業は10～15時
定休日は月・火曜日と祝日
朝市は毎月第2土曜日
9時半～



取材中、地引網を終えた漁業者が翌日の朝市用に魚を持ってきた。その中に、なんと当協会が生産・放流したであろうマダイの姿が。5.3kgの大物。放流魚の証である鼻孔欠損が確認された。

トコブシの放流効果

数年前からトコブシの稚貝放流をしている場所を視察したところ、成長したトコブシが多数確認できました。

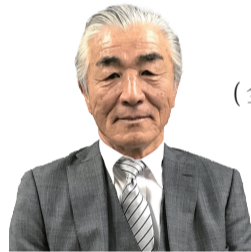
そこで、別の放流場所の漁業者にも問い合せたところ、放流したトコブシが順調に育っている、という声をきくことができました。トコブシの種苗放流は、現在そんなに多く行われていませんが、今回のように放流効果が認められ、漁獲に結びついていけば、アワビやサザエに並ぶ有用水産物として確立できるかもしれません。

アワビやサザエよりも浅場にいるため、密漁されやすいという懸念点がありますが、取り締まり強化や通報システムを拡充させて、沿岸漁業の活性化につながれば、と考えています。



受章おめでとうございます

2024年春の旭日双光章
水産業振興功労



鈴木清氏
(全国合同漁業共済副組合長
JFみうら漁業協同組合
組合長)

単独の共済組合あった神奈川県漁業共済組合を全国組織である全国合同漁業共済組合への合併を進め、共済組合としての基盤強化を図り、また全国合同漁業共済組合の副組合長に就任後は運営組織の強化や組織のスリム化合併の促進、共済制度改正への働きかけに取り組んだことなどが高く評価されました。

アマモ販売します



アマモは葉の上に付着する小型のエビやカニ類など魚介類の幼稚子の餌が多く生息し、稚魚たちが天敵となる動物から身を守る逃避場所になります。また、アオリイカなどの産卵場所となります。また、光合成により二酸化炭素を吸収し、根などに固定することからブルーカーボンの担い手として注目されています。

近年埋め立てによって浅い海が少なくなり、さらに草食魚やカモ類の食害に会い、各地でアマモ場がなくなってしまいました。

当協会は昨年度、神奈川県立海洋科学高校で育てられた苗から株分けで大量に苗を作ることができるようになり、現在は城ヶ島岸壁に流れ着いた苗を栽培し、増殖させることに成功しました。そこで、アマモ場を回復しようとする漁業協同組合や民間団体にアマモの苗を大量に作り販売します。

苗をつくるには時間がかかることから、購入の1年前に注文をいただき、増殖させて出荷しますので、アマモ場回復の計画をお持ちの団体は当協会へまずはお相談されますようお願いいたします。

編集後記

漁協探訪で藤沢を訪れたとき、帰り際に到着した翌日の朝市用の鮮魚の中にひときわ大きなマダイがいる、と漁師さんが見せてくれたのが、まさに放流魚。その日は当時マダイ生産を担当していた職員も同行していたため、生産者と漁獲者との巡り合わせもあり、感慨深かった。トコブシの放流後調査でも、大きく成長した放流トコブシを確認できたことはとても嬉しく、普段は実感することの少ない放流効果を目の当たりにする体験となった。トコブシに関しては、高齢の漁業者が活躍する場にもなり得るし、安定的に漁獲されて神奈川の水産業が盛り上がることに繋がれば、と思う。

